富士山の湧水が流れる源兵衛川で遊ぶ子どもたち

静岡県

三島市

地域資源の好循環を生み出すガーデンシティ

人口 104,961人　面積 62.02 km²

都市の特徴

静岡県東部、伊豆半島の玄関口に位置する。富士山の湧水が市街地を流れ、水遊びを楽しむ光景は夏の風物詩。旧東海道の宿場町や三嶋大社の門前町として栄えたが、近年は首都圏からの移住先としても注目されている。

富士・箱根の自然を未来につなぐまち

当市は、富士山の伏流水が湧き出る豊かな水資源に囲まれた「水の都」として知られている。美しく豊かな自然を守り、有効に活用しながら持続的に発展していくため、ごみの排出量削減や水辺環境の整備といった次世代を見据えた活動に、民間企業・市民団体等のステークホルダーが連携しながら取り組む。

01 市民活動の普及による郷土愛と環境意識の醸成

令和7年度に45回目を迎えた「三島の川をきれいにする奉仕活動」をはじめ、河川清掃や花壇づくりなどの環境美化活動が市民主体で活発に行われている。自治会や子ども会の担い手が減少する中、「〇〇川を愛する会」のような、既存の枠組みを超えて形成された自発的な市民活動に対して、環境整備と普及促進をすすめ、郷土愛と環境意識の醸成を図っていく。

市民の力で川をきれいに

02 循環型社会の実現に向けたごみの減量やリユース・リサイクルの推進

当市では、市民のごみ排出量の多さから最終処分場の残余容量が逼迫しており、ごみの減量が課題となっている。
そこで、清掃センターに搬入された粗大ごみ等の一部をメルカリ（フリーマーケットアプリ）で販売し市民のリユース意識を高めている。
また、食品ロス削減のため「三島市フードロスゼロ推進店」認証制度やフードシェアリングサービスの取組も推進する。

メルカリで販売しごみを減量

03 水辺環境の整備と親水空間の創出

子どもたちの親水空間創出

当市は市内各所に富士山の湧水が噴出する豊かな水資源を有する。水の都・三島市を象徴する源兵衛川の散策路の整備や、7月から9月まで桜川流域に設置される“みしませせらぎ川床イベント”を実施している。
長伏地区では、市営プール跡地を活用し親水空間となる公園整備を行うにあたり、ヒートアイランド対策としての芝生設置、ホタルを模したソーラー発電の照明灯の設置、インクルーシブ遊具の採用など環境への配慮を楽しみながら実感できる施設整備を推進する。

富士山を望む大きな吊り橋

伝統ある三嶋大社

各取組の詳細はこちら　取組01 ▶　取組02 ▶　取組03 ▶

インタビュー Interview

（左）三島市長　豊岡 武士 さん
（右）花サポーターみしま
代表　長谷川 扶美子 さん

01 自然を守る三島のシビックプライド

三島市長　豊岡 武士 さん

当市が掲げるガーデンシティの取組は、富士山の伏流水が湧き出るせせらぎなど、自然環境を守り未来に繋ぎながら、市民の郷土愛やシビックプライドを高めていく活動です。市民が主体となって行う環境美化などのコミュニティ活動に魅力を感じ、都内から移住する若者もおり、適度な距離感をもってつながることのできる人間関係が三島の魅力とも言われています。
今後も豊かな自然という強みを活かしながら、水と緑を活用した賑わいの創出、保全活動を通じたコミュニティのきずなづくり等を通じて、「せせらぎと緑と活力あふれる幸せ実感都市・三島」の実現を目指します。

02 ガーデンシティみしまを彩る「立体花飾り」

花サポーターみしま　代表　長谷川 扶美子 さん

当団体では、中心市街地の幹線道路沿いに設置される立体花飾りの作成・管理を行っており、この花飾りはガーデンシティみしまを推進するための象徴となっています。活動当初は苦労しましたが、市の担当者の熱心な指導や会員同士の助け合いにより、花飾りの作成や管理に必要な技術を習得することができました。ガーデンシティの取組を行政だけに任せるのではなく、市民が主体となって三島市を「美しく品格のあるまち」にするという思いで活動を続けており、今後は活動の継続に加え情報発信を広く行い、会員を増やしていきたいです。

市民でつくるガーデンシティ

今後の展望

SDGsの取組を通じて、豊かで美しい水資源に親しみ、その恩恵を十分享受しながら、将来にわたり持続可能な環境を整備していくことで、「三島で生まれてよかった、育ってよかった」という郷土愛を育み、自然と調和したにぎわいの創出による経済発展、コミュニティのきずなづくりを進め、若い人たちが将来も三島に住みたい、いつか三島に戻りたいと思えるまちづくりを進めていく。
引き続き河川清掃や花壇づくりなど市民活動への参加協力を周知していく。

そのほかの取組

三島駅南口再開発事業

にぎわいと交流の創出のため、西街区ではホテルが開業し、東街区では医療施設や商業施設などが2027年度に竣工予定となっている。

子どもは地域の宝事業

出生や転入により地域の仲間入りを果たした子どもを対象に、町内会が「お祝い会」を開催し、地域住民と子育て世帯の結びつきを強める。

クラフトビールのモルト粕を活用したアップサイクル事業

これまで廃棄されてきたモルト粕を食品へ加工する、再生紙として活用するなど、観光振興や新たな食文化の創造に取り組む。